

## 山梨県立大学 3つの方針

理念と目的			
「グローバルな知の拠点となる大学」、「未来の実践的担手を育てる大学」、「地域に開かれ地域と向き合う大学」たることを希求し、人間と社会に対する学術的研究、豊かな人間性及び専門的な職業能力を備えた人材の育成並びに地域社会に対する実践的な貢献を通じて、豊かで活力ある社会の発展に寄与する。（学則第1条）			
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）			
育成する人物像	本学の理念と目的に基づき、地域的視点と地球的視点、個別的視点と総合的視点を兼ね備えた知を創造・継承・活用すること、即ち、人間や社会に対する学問的探求、豊かな人間性と専門的職業能力を備えた人材を育成する。		
学士力 「学士基盤力」		学修成果	測定方法
①	教養力	知識・技能	専門分野を超え、文理を問わない幅広い知識を身に付けており、自己学修を継続するための基盤を備えている。 ・カリキュラムマップにて示す「教養力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「教養力」に係る科目の成績評価
②	技法力		読解、表現、数理・データサイエンスなどに関する基盤的リテラシーを身に付けている。 ・カリキュラムマップにて示す「技法力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「技法力」に係る科目の成績評価
③	思考力	思考力・判断力・表現力	既存の知識や問題を批判的に捉え直し、創造的に思考することができる。 ・カリキュラムマップにて示す「思考力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「思考力」に係る科目の成績評価
④	実践力	主体性・多様性・協調性	思考を現実と関連づけながら発展させ、進んで問題を発見し、解決していく姿勢を備えている。 ・カリキュラムマップにて示す「実践力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「実践力」に係る科目の成績評価
⑤	倫理・シティズンシップ力		多様性を理解し責任をもって他者に応答することができ、ローカルからグローバルへと至る社会の重層性を理解し社会の維持と変革に向けた取り組みに参加することができる。 ・カリキュラムマップにて示す「倫理・シティズンシップ力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「倫理・シティズンシップ力」に係る科目の成績評価
卒業判定基準	本学の理念と目的に基づき、学生の学修成果が次の到達目標に達し、『学士力』を身に付けていると認められる者に、学士（専門分野）の学位を授与する。 1.全学に共通する「学士基盤力」を身に付けている。 2.各専門分野における「学士専門力」を身に付けている。		
教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）			
学士（専門分野）に係る学修成果を身に付けるための教育プログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成し実施する。 <総合性に関する方針> 各専門分野を構成する多様な研究領域のつながりを考慮した専門分野の「総合性」を実現する。 <順次性に関する方針> 授業科目区分と履修単位を組み合わせ年次ごとに系統的な学修を促す「順次性」を実現する。 <実施に関する方針> 学生の主体的な学びや深い学びあるいは能動的な学修を促す「体験性」を実現する。			
入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）			
本学の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、入学者選抜の方針を次のように定める。 <入学前能力> 高等学校レベルの基礎的な知識・技能とともに、思考力、判断力、表現力及び協調性を身に付けている。 <入学後能力> 入学後にグローバルな知と資格教育による専門職に必要な資質能力を身に付けることができる。 <評価方法> 入学者選抜においては、調査書のほか資格・検定試験の成績を加味しながら、確かな学力を評価するための小論文と面接を重視する。			